

開催報告

平成29年度土砂災害に関する研究集会

日時：平成29年12月15日（金） 15:00～17:35

会場：北海道大学農学部本館中講堂

砂防学会北海道支部では、昨年・今年の災害に関する対応・調査研究等の知見の共有を目的に、平成29年度土砂災害に関する研究集会を開催しました。研究集会では、砂防学会長である丸谷知己北海道大学特任教授より「平成29年7月九州北部豪雨災害」と題し特別講演を頂き、また、6件の研究発表を行いました。大学・研究機関・行政機関・民間コンサルタントから、約40名の参加者があり、活発な質疑応答が行われました。



特別講演「平成29年7月九州北部豪雨災害」
丸谷砂防学会長・北海道大学特任教授



研究集会参加者



研究発表



本研究集会は、砂防学会公募研究会「北海道における継続的な土砂移動に関する研究会」の活動でもあります。

砂防学会北海道支部 平成29年度土砂災害に関する研究集会 プログラム

15:00 小山内支部長挨拶

15:05- 特別講演

丸谷知己(北海道大学, 砂防学会長)

平成29年7月九州北部豪雨災害

15:25-

古市剛久(北海道大学)

十勝平野西部の芽室川及び久山川に見られる低位段丘の形成と侵食

15:45-

塩野康浩(国土防災技術北海道)

台風10号における十勝川水系芽室川等での土砂流出状況

10分休憩

16:15-

宮崎知与・澤田雅代・片桐碧衣(シン技術コンサル)

細粒土砂の発生・流出に着目した土砂移動調査事例

16:35-

青木大輔(北海道大学)

平成28年8月豪雨における十勝川水系ペケレベツ川と小林川での河床変動プロセスの比較

16:55-

早川智也(日本工営)

SPOT衛星画像から見た沙流川上流域の平成28年8月土砂流出状況について

17:15-

溝口芽衣(北海道大学)

寒冷多雪地域の地すべり地における蒸発散を考慮した地下水位変動解析

支部長講評 17:35 終了